



全国学力・学習状況調査分析結果及び今後の対応について

「内部東小学校だより（第8号）」で全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせしましたが、今回は分析結果と今後の対応についてお知らせします。学校と家庭が本調査の結果を共有することで、子どもたちの学力の向上に向けて、協働で取り組んでいけたらと考えています。

本校の学力等の状況（強み：○、弱み：△）



1 調査全体を通して

国語 A 問題（知識）、B 問題（活用）・算数 A 問題（知識）、B 問題（活用）・理科の正答率が、全国平均・県平均をすべて上回った。

2 各教科の状況及び「児童質問紙」から

（1）国語

○敬語の使い方や文章における主語と述語との関係は、かなり理解できており平均を上回り、選択式の問題であると、正答率も高かった。

△物語文の読みでは、登場人物の心情を情景描写とつなげて読み取る力がやや劣り、文章や資料から自分の考えをまとめて、字数制限や条件に合った文を記述する問題の正答率は低かった。

△漢字の問題については、書き取りではなく、漢字の使い方を3つの文から選ぶ方法で、「積極的」の「積」を次から選択する問題は正答率が低かった。

（面セキ 成セキ セキ任）

（2）算数

○すべての領域で全国平均も上回っており無回答率もほぼ0%であった。特に、図形関係の問題では、全国平均を上回った。

○数直線上での数量関係の理解力、グラフから変化の特徴を適切に読みとる力、百分率を求める力は平均を上回った。

△混み具合を求める問題や、複数回答での問題で間違いが目立った。

△示された考えに沿って考察し結果を記述する問題や示された条件で根拠を明確にして記述する問題では、正答率が低かった。

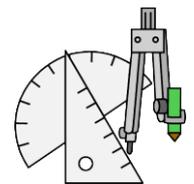
○「算数の勉強はすき」「算数は、大切」「算数の授業内容はよく分かる」という問いに対して「当てはまる」と答えた児童が、全国平均より多かった。

（3）理科

○「知識」に関する問題では平均であったものの、「活用」に関する問題や「生命」「地球」の分野の問題は全国平均を上回った。

△「物質」「エネルギー」の分野の問題や科学的な思考力を要する問題や実験器具の操作方法や模型を使って説明する問題では正答率が低かった。

○「理科の授業は、将来役に立つ」「将来、理科や科学技術に関する職業につきたい」の問いに「当てはまる」と答えた児童は、全国平均より多かった。



3 学習や生活の状況「児童質問紙」「学校質問紙」から

(1) 児童の状況

○△「自分には良いところがあるか」という問いで、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると全国平均を上回ったが、「当てはまる」と回答した児童だけを比べると全国平均をかなり下回った。

○△「学校のきまりを守っているか」の問いで、「当てはまる」と答えた児童は35.8%、全国は43.8%である。「どちらかといえば、当てはまる」も合わせると全国平均並みで、90%以上になる。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いでは、90.1%の児童が「当てはまる」と答えた。

△「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の問いでは、「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と答えた児童は、17.3% 全国は14.5%である。

(2) 生活

○朝食を毎日食べてくる子どもがほとんどで、起床時刻や就寝時刻については、ほぼ同時刻に寝たり起きたりしています。



△「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか」という問いでは、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童は58%、全国は63.8%で、同じく、「地域や社会をより良くするために何をすべきか考えたことがあるか」という問いでは、本校42.0%、全国50%で、地域に対する関心が低いことがわかる。

△新聞をほとんど読まない児童は69.1%いる。全国60.9%に比べて新聞を読まない児童が多いことがわかる。

(3) 家庭・学習

△家庭での学習（学校の授業時間以外）を「全くしない」「30分より少ない」と答えた児童が、13.6%で、全国9.9%より多い。また、1時間以上と答えた児童は55.5%、全国66.2%で、全体的に家庭での学習時間が少ないと言える。

△「家の人と学校のことについて話すか」の問いで、「当てはまる」と答えた児童は42.0%、全国52.8%で、家庭で学校のことを話す子が少ないと言える。

4 今後の取り組み

- すべての教科において、「かかわりを通して学び合う子～聴き合う関係から始まる 授業デザイン」(研修主題)により、友だちと学び合う授業の取り組みを進めます。
- 読書活動や文字に親しむ活動を充実させ、読み取る力の育成を図ります。記述式の問題については、各教科で「書く活動」や「ノート指導」の充実さらに努めます。
- 算数に対する学習意欲をさらに伸ばすために、少人数や習熟度別授業など授業形態を工夫しきめ細やかな指導を行います。
- 学校、家庭、地域が一体となって、「学校、家庭、地域の一員である」ことが実感できる取り組みを進め、教師からも子どもたちの自尊感情が育まれる声かけをしていきます。



※内部東小学校ホームページでもご覧になれます。

